

マーケットの動き (2020年5月18日～5月22日)

先週の米国国債市場は、前週末比で金利が上昇しました（債券価格は下落）。週初は前週末からの流れを受けてリスクオンが継続し、金利が上昇したものの、週後半にかけ徐々に水準を下げ、ほぼ前週末並みの水準で終わりました。ドイツ長期金利は、米国国債と同様の推移となり、週後半にかけて低下したものの週を通じては小幅に上昇して終わりました。

投資環境見通し (2020年5月)

米国、欧州（ドイツ）ともに長期金利には低下圧力が働く

米国：新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化懸念が広がる中、FRB（米連邦準備制度理事会）は無制限の資産買い入れとともに、対象資産の条件緩和に踏み込んだ金融緩和策を行っており、当面の長期金利は低下圧力が働くかとみています。ただし、景気刺激策による財政拡大を受けた国債の発行額増加や投資家のリスク回避姿勢後退もあり、中期的には上昇圧力が強まる可能性もあります。

欧州：ECB（欧州中央銀行）は当面、国債や社債の買い入れや資金供給を通じて金融市場の安定化に努めるとみられることから、長期金利は米国市場と同様に、低下圧力が働くと考えられます。

	5月22日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	0.66	0.02	0.04	▲1.11	▲1.73
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	477.26	0.66%	0.68%	2.18%	4.98%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

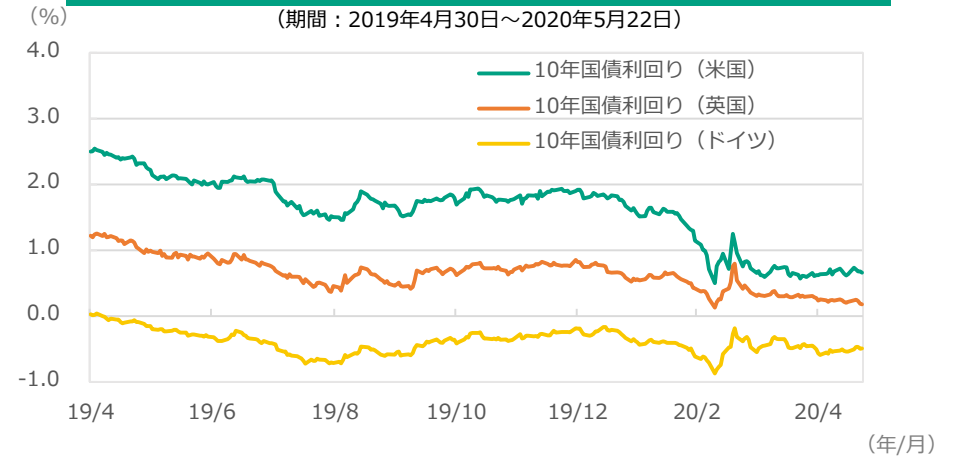
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202005_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移

（期間：2019年4月30日～2020年5月22日）



FTSE世界国債指数の推移

（期間：2019年4月30日～2020年5月22日）



※2019年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成